

ホームページからのご意見への回答

「保険所も介入することもなくなくなった今、学校からコロナウイルス濃厚接触者扱いにされ、国の指針での2日目と3日目に抗原検査をし陰性であるにもかかわらず（病気の症状もちろんありません）ショートステイをことわられました。

コロナ禍から3年もたつのにいまだに病院は変わらずそのような状況で、ショートステイを必要としている私達のような者は一般的な社会生活を送ることを否定されているかのように感じました。

まっとうに社会生活を送れるよう病院側にはもっとよく考えて頂きたいです。」

とのご意見に回答いたします。

この度は、ショートステイのご利用が出来ず申し訳なく思っております。

ご指摘のとおり、当院の感染対策の独自の基準がございます。ショートステイや入院治療を要する患者さん、またスタッフの就労においても同様の基準で対応しております。

それは、当院での感染拡大やクラスターの

発生を防ぎ、診療を継続するという、入院患者さんや地域のこどもたちの命を守るための当院の使命があるためです。

当院は COVID19 患者の治療入院を受け入れながら、ショートステイも可能な限り受け入れてまいりました。しかし、ショートステイ利用者の方々のご希望に十分お応えできていない現状を、病院として認識しております。

今後とも、関係機関と連携しながら、皆様の社会生活がより安心して送れるようなシステム構築に取り組んでまいります。

ショートステイご利用の皆様におかれましては、当院の現状についてご理解いただきますよう、お願いいたします。

病 院 長

ホームページからのご意見への回答

「現在子供の手術入院で付き添いをしている保護者です。意見、要望と表現して正しいかわかりませんが、どうしても院長先生にも聞いていただきたいことがありメッセージを送らせていただきました。

先日、手術をしていただきました。大変繊細な技術を要する手術で、術後の過ごし方も注意しなくてはならず、うつ伏せ禁止、患部を圧迫するような行為は禁止とご説明いただいたため、私なりにできる限り子供の行動に気を配っています。ところが術後数日経過したころ、お二人の看護師さんが処置室から子供を返しに病室にきていただいた時、大変、憤りを感じたことがございました。

処置室での処置後、戻ってきた子供をすぐベッドに座らせて、そのままベッドの柵をお二人の看護師さんが両側から1番上へあげてしまい、子供はベッドに一人になりました。子供が処置室から戻ってきた時、私は手を流しており、すぐに行かねばと急いで手を流しました。子供を見ながら急いで手を流している状況で、私が手を流していることはお二人の看護師さんも確認していたので、その間は子供がうつ伏せにならないよう

に見てくれると思いましたが、その数秒間でお二人の看護師さんが子供をベッドに一人にしてしまったので、子供はうつ伏せになり、患部を圧迫してしまいました。

憤りを感じ感情を抑え込むのに必死でしたが、もしかすると術後の経過が良かったなどでうつ伏せしても良くなったのかもしれないと思い、その場で看護師さんに確認をしましたが、うつ伏せはだめです、とのことでした。

どうして子供を一人にしたのかという怒り、その一瞬のできごとで今後に影響があるのではないかという不安、今まで子供の行動に気を配っていたことがすべて無駄になったような気持ちになり、いてもたってもいられず、病棟の1番上の方とそのことについてお話する時間をいただきました。病棟長様のお話では、看護師さんに慣れが出てきている、他の患者さんを何人も見ているため忙しい時間帯であった、一言(柵をあげることに對して)私に声をかけるなどコミュニケーションの不足が見られる、とのことでした。お話の内容としてはおっしゃる通りだと思い、納得もしています。

しかし、だからといって、子供を一人にすることは許されることではありませんし、それでは看護師さんは良くて、付き添いの保護者は駄目というおかしいルールができてしまうと私は思います。柵をあげ子供を一人にすることで起こりうる危険は十分に想像できたはずです。看護師さんは

保育士さんではありません。しかし、今回のことはあんまり過ぎると感じました。

現在も入院中のため、子供の行動に気を配っていますが、毎日のように思いだし、憤りを感じています。このようなことは、日常度々発生していることなのではないでしょうか。」

とのご意見に回答いたします。

この度は、ご家族様に心配をかけるような対応をしてしまいましたこと、誠に申し訳ありません。

状況としましては、お母様が病棟の看護師長とお話をされたとおりです。本来は、看護師が十分注意し配慮を行う必要がありましたが、そういったことが不足しておりました。

病棟スタッフには、ご指摘いただいた点を含め看護ケア、対応について指導を徹底してまいります。

病 院 長

ホームページからのご意見への回答

「コロナウイルスが蔓延してから、通院が怖く電話診療をお願いしていますが…

電話診療開始から比べどんどん処方箋の薬局へのFAXが遅くなっています。

以前は10時だいには薬局から連絡が来ていたのに、今は電話診療を9時に受けてFAXが12時過ぎと…どんどん遅くなっていて、これでは無理をしてでも通院した方がいいのでは？と思うほどです。

沢山の診療の方が居るのは理解していますが、出来るだけ早く改善してもらいたいです。」

とのご意見に回答いたします。

電話診療の処方箋については、午前は10時頃と12時頃、午後は15時頃とそれ以降は随時、薬剤部の担当者が会計に届いた処方箋を回収し、調剤薬局へのFAXを行っています。

9時に診察を受けても、その後の処理の状況により10時頃に処方箋が会計に届いていない場合には、FAXは12時頃になります。

また、送付先の調剤薬局での確認にも時間を要します。

ご理解をいただきますよう、お願いいたします。

病 院 長

～感謝のお言葉を頂いただきました～

「先日、娘が救急外来を受診し入院をしました。診察して下さった諸田先生は親身になって私のお話を聞いてくださりました。また、一つひとつ丁寧に検査や結果を伝えてくださりました。受診前は不安な気持ちでいっぱいでしたが、先生のおかげで不安軽減できました。

関わって下さった救急外来や病棟の看護師さんたちも皆さん優しい方ばかりで、とても有り難かったです。

本当にお忙しい中、ありがとうございました。感謝の気持ちでいっぱいです。」

とのご意見に回答いたします。

この度は、ご丁寧に職員へのお言葉をありがとうございます。

いただいたお言葉は、職員にとっては日々の励みとなっております。

今後もより良い医療と治療環境を提供できるよう努めてまいります。

病 院 長